

資料6-2

令和7年度 地域生活交通再編事業 取組（案）について

政策部政策推進課交通政策グループ

共創・MaaS実証プロジェクトについて

概 要

国土交通省が実施する「共創・MaaS実証プロジェクト」は、地域の多様な関係者が連携・協働した取組を通じて、地域交通の維持・活性化を図る事業を支援するもの。具体的には3つの事業がある。

1. 共創モデル実証運行事業

官民・交通事業者間・他分野など複数の主体の「共創」による取組や「共創」を支える仕組みの構築を支援する事業

2. 日本版MaaS推進・支援事業

公共交通とそれ以外の多様なサービスを1つのサービスとして、デジタルを活用して提供したうえで、データの連携・利活用等により地域が抱える様々な課題の解決に向けた取組みを支援する事業

3. モビリティ人材育成事業

地域交通を軸とした「共創」の取組の促進・普及に向け、モビリティ人材の育成に関する仕組みの構築・運営を支援する事業



令和7年度に「モビリティ人材育成事業」の採択を目指し、交通・まちづくり関連の行政職員、交通事業者、地域住民等で構成するプラットフォームを立ち上げ、このプラットフォームにおいて、ビッグデータを用いたデータ分析や利便性の高い公共交通システムの検討、ワークショップの開催等を通じ、本市の地域性に応じた持続可能な地域公共交通体系構築のために必要な知識を持つ人材を育成しつつ、最適な地域公共交通体系の検証を図る。

スケジュール（案）について

項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
亀山市地域公共交通計画	←————→									
亀山市地域公共交通計画 改定作業				←————→						
モビリティ人材育成事業				←——→						
共創モデル実証運行事業（予定）					←……→					
亀山市地域公共交通計画（改定後）						←————→				

R7 共創・Maas実証プロジェクト （モビリティ人材育成事業）

<事業概要>
公共交通に関する関係者の知見の向上とデータを活用した交通体系の再構築を検討する

<事業実施体制等>

- 実施主体
亀山市
- ターゲット
交通・まちづくり関連の行政職員、交通事業者、地域住民 等
- 取組内容
講義、WS、データ分析、最適な交通体系の検討 等
- 補助対象経費及び補助率
 - ・補助率：定額補助（上限3,000万円）
 - ・補助対象経費：セミナー等の企画・開催費用、有識者等に対する謝礼金 等

R8 共創・Maas実証プロジェクト （共創モデル実証運行事業）

<事業概要>
交通事業者等を含む複数の共創（連携・協働）主体で構成される協議会等が実施する実証事業

<補助対象経費等>

- 補助対象経費
 - ・事業実施のための基礎データ収集・分析、協議会開催に要する経費
 - ・事業実施にあたり必要となるシステム構築、車両購入・改造に要する経費
 - ・実証事業に要する経費
- 補助率（人口10万人未満）
 - ・補助対象経費500万円以下の部分については定額、500万円を越える部分は2/3（上限1億円）

R8 地域交通のリ・デザイン（再構築）